

ワールドカフェの各テーブルで出された意見（全体まとめ）

○開催日：令和5年5月17日（水）午後1時30分～ ○会場：さざなみタウン2階 多目的ホール

○テーマ：「子育てしやすい長浜市になるには」

テーブル	出された意見（課題・解決策・意見が出された経過等を含めて）	意見の取り扱い（担当常任委員会）
A	1 第二子が生まれると第一子が6か月で退園してくるのは保護者の負担が大きい。子供を複数人出産育てていくためには、上の子が保育園に通い続けられる環境が必要。	総務教育常任委員会
	2 幼稚園に預けなくても子育てできないか。就労していなくても自宅で子育てできればもっと子供との時間を作れる。就労していても、いなくても子育てできる多様な支援が必要。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	3 子育て支援に関する情報が支援を必要としているお母さんに徹底して周知されていない。本当に子育てで困っているお母さんがいつでも容易に相談できるシステムを構築する必要がある。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	4 ながまるキッズ等のアプリで、一時預かり・リフレッシュ託児・長時保育等のいろいろな予約が簡単にできるシステムがもっと高度に進めば助かる。	健康福祉常任委員会
	5 電話での相談はハードルが上がる。もっと相談がしやすいようにアプリなどの相談窓口を整備すればどうか。アプリならば今まで電話相談に消極的だった人も、気軽に相談できるような環境が整備できる可能性がある。	健康福祉常任委員会
	6 子育て支援というと、主体が親視点になりがち。子供の視点で考えれば、僕はお母さんといいたいんだ。とか、私は保育園でみんなと遊びたいんだとか大人の視点とは違う見方をしているかもしれない。子供の視点を考慮することでより良い子育て環境を構築するヒントになるかもしれない。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	7 彦根市はどこの幼稚園に通ってもいいらしい。長浜は区画が決まっているため不都合もある。人口密度と距離などを考慮し学制の区域を見直すべきではないか。	総務教育常任委員会
	8 働きながら子育てする人のほうが、家にいて子育てに専念している人より立派みたいな空気がある。働きに出ず家にいて子育てしている人が引け目を感じずにいられるようにならないといけない。	各議員へ情報提供
	9 *学童保育が足りていない。公立が安いので入れたいが競争率が高くて入れない。民間は高い。（一概に言えない） *地域で子供を育てるような学童保育をしている。（高時学区）顔見知りばかりの小さなコミュニティだからできるのかもしれないが子供のまた来たいを大事にしている。	健康福祉常任委員会
	10 働いて子育てする人に対する支援が主になっているように思うが、家で専業主婦として子育てしている女性への支援も同等に大切である。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
B	1 子育て世代の家庭の中に賃貸集合住宅にお住まいの方が多く、自治会に加入されていない方もおられる為、母親などが子育てする上で必要なサービスを知らない事がある。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	2 子育てしやすい市になっているかという点においても、上の子を出産し保育園に預けたとしても、第2子を出産しその下の子が6ヶ月経過したら、保育園に預けている上の子が2歳未満ならば退園させなければならない！母親の負担が大きくなっている。	総務教育常任委員会
	3 男性の育児休暇が2022年に改正され義務化されているが、実際の職場の現状として、人手不足の中、取得しづらい。	総務教育常任委員会 産業建設常任委員会
	4 長浜市に里帰り出産したくても、長浜市自体の分娩できる病院が少なく、2病院あるベットの数が少ない、実家での出産はできない！また、里帰り出産したとしても、上の子がいたら、預ける一時保育の条件もあり、里帰り出産するのが難しいのが現状である。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	5 ワンオペは大変、ほんの少しでも手伝ってくれると助かる、子どもの成長に合わせた支援が必要。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	6 学童保育に子どもを預けているが、子ども自身の気持ちはどうなのか、親の都合ばかりで、子どもたちの声も聞くべきである。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会

テーブル	出された意見（課題・解決策・意見が出された経過等を含めて）	意見の取り扱い（担当常任委員会）
C	1 公共の場での駐車場が少ない。サンサンランドは特に少ない。交流センターの事業と重ならないように考えるが、子育て中はほとんどが車で来所される。	各議員へ情報提供
	2 耳鼻科が足りない。 赤ちゃんの学校訪問を復活してほしい。 こども服のリユースをしている。制服、体操服にこどもの名前の刺繍は必要か。かえってあることが邪魔になっている。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	3 保育園に入所していて、2番目の子が生まれたら、6か月までは、上の子は保育園でみてもらえるが、その後退園となり、2人のこどもを家庭でみなければならなくなる。母親は大変で、なんとかならないか。	総務教育常任委員会
	4 児童公園の除草をお願いしたい。	健康福祉常任委員会
	5 子どもの成長に応じたサービスの充実を！ 赤ちゃんの学校訪問を再開してほしい。サンサン母親クラブで各グループを作っているが、幼稚園の3歳児保育が始まって利用者が少なくなった。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	6 学童保育について・・・放課後児童クラブなので、放課後に親がいればいいのに。学童保育（外注）が充実すれば、親子の関係が薄くなるのではないか。余呉での経験。1人の人が運営を担っていてその時は楽しくやっていたが、この人ができなくなって、そのあとが大変だった。高時小のように、地元の方がやれるといいが、自分の子や、孫がお世話になっていると何をするかが見えてくるけど、経験していかないと見えにくい。 預けっぱなしで、何でも学童さんにしてもらえるとと思っている親御さんがいて、その通りにすると、管理ばかりになる。	各議員へ情報提供
	7 子育てを外注する。お母さんに自信が生まれるといいが、「働くことが当たり前になっている。「私は子育てを自分でしたい。」と言える世の中になってほしい。困っている人は手をあげにくい。大人の世界が声をあげにくい。昔は物がなくても許された。今は皆が一緒にないと不安になっている。	各議員へ情報提供
	8 出生率が少なくなって、小中で9年間一緒だったのが、高校になって急に環境が変わり大変になる。	各議員へ情報提供
	9 今の子どもは忙しい。学校給食の残飯が多い。給食時間が短いから。特に中学は短い。朝、食べてこられない子供にとっては、給食は命綱。もっと時間の余裕がほしい。中学校は昼休みがない。50分授業は必要か？	各議員へ情報提供
D	1 子どもの成長とともに地域でのサポートが必要。情報提供しつつ関わってもらう、地域全体で子育てする。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	2 小中一貫校（義務教育学校）は上級生の姿を通して地域との関わり方、遊び方も含めて日常のなかで学ぶことができていると思う。	各議員へ情報提供
	3 学童に民営、公設に差があると感じる。保護者の中には利用料を負担に感じている人もある。保育料の助成はあるが学童にはない助成が必要。	健康福祉常任委員会
	4 ワンオペにしない地域も含め、子育てをチームと捉えて考える必要がある。だが一方で他者の関わりをそれほど必要と考えていない方たちもいることを認識する必要もある。地域の関わり方を、フワッとアプローチしていくコーディネーターが必要。	総務教育常任委員会 健康福祉常任委員会
	5 長浜が好きと言う高校生もかなりいる。住み続けていくことができる、進学先、就職先がないから将来のイメージ図が描けないでいると思う。その環境が必要。	総務教育常任委員会 産業建設常任委員会
	6 長浜市のファミリーサポート制度は良い、さらに拡充を。	健康福祉常任委員会
	7 ながまるキッズ（アプリ）で双方向に情報をやり取りできる仕組みがあるとよいと思う。	健康福祉常任委員会